

# 吉野川市教育委員会会議録

招集年月日 令和7年12月12日  
招集の場所 吉野川市役所東館2階 会議室  
開閉会日時 開会 令和7年12月23日 午前10時  
閉会 令和7年12月23日 午前10時50分

出席委員 委員 武知 李香 委員 貞野 雅己  
委員 熊代雄一郎 委員 栗原 奈麻美  
委員 山口 奈美

出席職員 副教育長 植田千恵美 副教育長 吉田みずほ  
教育次長 近藤秀樹 教育総務課長 重清博文  
学校教育課長 西村広志 学校給食センター所長 岡田裕仁

## 議案

- (1) 吉野川市教育委員会特例会計年度任用職員の報酬及び費用弁償に関する規則の一部を改正する規則について
- (2) 吉野川市教育委員会会計年度任用技能労務職員の給与に関する規則の一部を改正する規則について
- (3) 指定校変更及び区域外就学について

## 報告事項

- (1) 区域外就学について
- (2) 令和7年12月議会定例会一般質問について

## 教育長報告

## その他

- (1) 鴨島第一中学校及び鴨島東中学校の統合に関する準備状況について

## 会議の経過

武知職務代理者	ただいまから、12月の吉野川市定例教育委員会を開会いたします。 委員の過半数が出席しており定足数に達しています。 本日の会議録署名委員に、委員、委員を指名。  議案(1)「吉野川市教育委員会特例会計年度任用職員の報酬及び費用弁償に関する規則の一部を改正する規則」について事務局より説明をお願いします。
西村学校教育課長	このたびの改正は、徳島県人事委員会勧告を受け、本市職員の給与改正が行われました。それらの事象を鑑み、特例会計年度任用職員の報酬及び費用弁償にこの規則の一部を改正するものでございます。 資料2ページの新旧対照表をご覧ください。外国語指導助手(ALT)の報酬月額を25万7千円から26万8千円に、学校教育指導員の報酬月額25万6千円から26万7千円に改正するものです。資料1ページにお戻りください、最下段 附則でございますが、改正後の規則は、公布の日から施行となりますが、本年4月1日に遡及しての適用となります。以上です。
武知職務代理者	ただいまの件について、ご質問・ご意見等ございませんか。それでは異議なしと認めます。本案は原案どおり承認されました。議案(2)「吉野川市教育委員会会計年度任用技能労務職員の給与に

関する規則の一部を改正する規則」について事務局より説明をお願いします。

重藤教育総務課長

それでは、議案（２）「吉野川市教育委員会会計年度任用技能労務職員の給与に関する規則の一部を改正する規則」について、ご説明申し上げます。

資料４ページの新旧対照表をご覧ください。このたびの改正は、徳島県人事委員会勧告を受け、一般事務職の会計年度任用職員の給料表を改定することにあわせ、技能労務職の会計年度任用職員についても、近隣自治体の状況に鑑み、給料改定を行うもので、別表第１の給料表のとおり、それぞれの区分ごとに２万円ずつ引き上げるものでございます。資料の３ページに戻っていただき、下段の附則でございますが、改正後の規則は、公布の日から施行となりますが、本年４月１日に遡及しての適用となります。

武知職務代理者

ただいまの件について、ご質問・ご意見等ございませんか。それでは異議なしと認めます。本案は原案どおり承認されました。続いて、議案（３）及び報告事項（１）につきましては、公にすることが適当でない案件であるため、会議規則第６条第２項の規定により非公開としてよろしいか。

（異議なし）

----- 【非公開】 -----

それでは報告事項（２）「令和７年１２月市議会定例会一般質問」について事務局より報告をお願いします。

重藤教育総務課長

まずはじめに、本定例会におきましては、教育委員会関係の質問として、資料１０ページ記載の５名のほか、細井英輔議員から「鴨島東中学校と鴨島第一中学校の統合について（学校名のアイデア募集、制服及び体操服の選考手順、通学支援の詳細）」についての質問が予定されておりましたが、体調不良により欠席されたため、質問は取下げとなりましたので、その旨ご報告させていただきます。

岡田センター所長

１１ページをお開きください。福岡議員より「学校給食費の無償化について（１）本市の現状は（２）無償化の導入についての考えは」のご質問がありました。

まず、本市の本年度の学校給食費の現状について令和７年４月から小学生が３００円、中学生が３３５円とし、そのうち、保護者負担額は、令和４年１０月以降、小学生は２７５円、中学生は３００円と据え置いたままであり、その差額分につきましては、市の負担としているところで、市の負担額といたしましては、約１，２４５万円を見込んでおります。年間の児童生徒分の給食提供に係る賄い材料費につきましては、令和７年度は約１億３，６６９万円の支出を見込んでいるところでございます。

次に、無償化の導入についての考えはについては、本年３月に公表いたしました「第３期 吉野川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、令和１０年度までの「学校給食費の完全無償化」を目標に掲げており、財源の確保が必須でございます。この度、国におきまして、現在、令和８年４月から小学校の給食費無償化の予算成立に向け、制度設計が進められているところでございます。しかし、現段階での内容は、支援の基準額を月額４，７００円程度を基に設定されるとのことから、自治体負担が一部生じる場合もあり、本市の現在の平均月額額は約５，２７０円であることから、一部負担は免れないところでございます。

今後におきましては、令和８年度予算編成に向けた国の方針内容の把握に努め、子育て世代の経済的負担の軽減を図るとともに、子どもの成長を社会全体で支える施策の一つとして、早期の完全無償化に向けてしっかりと取り組んでまいります。と答弁いたしました。

西村学校教育課長	<p>資料1 2ページからをご覧ください。福岡議員より「8 GIGAスクール構想について(1) タブレット端末等の整備状況と成果は(2) 課題と今後の取組は」という質問に対して、まず、今年度のタブレット端末等の整備状況とそれに伴う成果について新しいタブレット端末の導入により、学校全体で利用しても、起動、ネット接続ともに大変スムーズで、とてもよい状況が確認でき、学習支援アプリの活用も各学校で進んでいる。</p> <p>次に、新しいタブレット端末導入に伴う課題として教職員の活用能力向上に向けてのサポート体制の構築があげられる。ICT支援員による支援、学習支援アプリの研修、アプリ業者によるオンライン研修を実施している。</p> <p>今後の取組等については、タブレット端末の持ち帰りや、生成AIの活用等、セカンドGIGAを見据え、新たな挑戦として進め、児童生徒の生きる力の確かな育成につなげてまいりたいと答弁いたしました。</p>
西村学校教育課長	<p>次に資料1 3ページからをご覧ください。枝沢議員より「4 市内小中学校のあり方について(1) 誰一人取り残されない学びの保障の内容と市内での実施状況は(2) 不登校児童・生徒の現状と居場所の確保は」とについてのご質問がございました。これに対して、まず「誰一人取り残されない学びの」内容について、文部科学省COCOROプランにある、3点の取り組むべき内容があり、市内小中学校の実施状況として、教育支援教室(つづじ学級)、の果たす役割や、鴨島小学校内に設置しているSSRの成果、SSWとSC等の活用による協働体制、さらに望ましい行動を増やしていくためのPBSの取組について説明いたしました。</p> <p>次に、不登校児童・生徒の現状と居場所の確保について、本市において不登校児童生徒数が増加傾向にあること、そのことを踏まえ、教育支援教室(つづじ学級)の指導体制の充実、校内教育支援センターの増設等の要望を進めてまいりたいと答弁しました。</p>
重静教育総務課長	<p>同じく、枝澤幹太議員から「4 市内小中学校のあり方について、(3) 市立川島中学校の将来像は」とについて質問がございました。</p> <p>これに対しまして、川島中学校区においては、令和元年度から県教育委員会から「分散型小中一貫教育(チェーンスクール)」の指定を受け、校区内の3つの小中学校が連携して様々な取組を行っている。</p> <p>しかしながら、今後においては、更に学校の小規模化が進むことが想定され、現在の連携体制やその取組が困難となることも考えられる。</p> <p>市立川島中学校区の将来像については、子どもたちに最善の教育環境を提供することを念頭に、まずは、保護者や地域の皆様のご意見を伺っていく旨答弁いたしました。</p>
重静教育総務課長	<p>続きまして、同ページ下段、質問順位3番、栗原五男議員から「8 中学校統合について、(1) 進捗状況と跡地利用は」とについて質問がございました。</p> <p>これに対しまして、新しい中学校の学校名について、「鴨島中学校」を選考したほか、制服・体操服のデザイン、スクールバス運行経路を決定し、今後、校歌や校章などについて協議していく。</p> <p>一方、鴨島東中学校の跡地利用については、具体的な協議には至っていないが、現時点における利活用案として、体育館やテニスコートなどの体育施設は、引き続き部活動での利用や地域の団体に貸し出すことが想定される。校舎については、民間レベルでの活用を含め検討する必要があると考えている。</p> <p>施設を効果的に活用し、地域の活性化につながるよう、他団体の事例も調査研究しながら協議していく旨答弁いたしました。</p> <p>また、市長に対して、「跡地利用に関する考え」とについての再問がございましたが、鴨島東中学校は、国道に面した位置にあり、交通の利便性も高いことから、立地条件を活かした幅広い利活用の可能性を含んだ施設である。</p>

統合準備委員会や地域の皆様のご意見を踏まえ、あらゆる選択肢を検討しながら、地域の賑わいと活力の創生につながるよう、効果的な利活用に向けて取り組む旨答弁いたしました。

西村学校教育課長 同じく栗原議員より「8. 中学校統合について(2) 教育環境への課題は」とご質問がありました。

環境の異なる二つの中学校の統合に際し、新しい環境への不応や、それに端を発する不登校の増加などが課題であると認識しており、その対応として、合同で学校行事等を実施するなどして、スムーズな人間関係の構築を図ったり、両校生徒会による校則の見直し等により、新しい文化を両校で創出したり、人権教育を基盤に据え、いじめを許さない学校風土をつくる体制作りを進めたり、教職員が生徒一人一人を深く理解し、寄り添う体制作りを促すことで、不応、不登校対策に万全に期すとともに、新たな学校づくりにおいて、すべての子どもたちが夢や志を持って充実した学校生活を送れるように取り組んでまいりたいと答弁いたしました。

岡田センター所長 岡田議員より「3 学校給食費の完全無償化の考えは」についてのご質問がありました。

まず、完全無償化についての本市の考えでございますが、子育て世代の経済的負担の軽減を図るため、早期の学校給食費の完全無償化に取り組んでまいりたいと考えています。現在、国において、「課題を整理し、制度設計を確定させる」とのことでございますので、国の動向を注視し、適切に対応してまいります。

学校給食費の完全無償化には、財源の確保が前提となるため、今後、中学校に加え、国による無償化の対象外となる児童への支援も含めた仕組みを整理し、子育て世代への公平な支援を検討してまいります。と答弁いたしました。

西村学校教育課長 同じく岡田議員より「7 教職員の働き方改革について(1) 現状は(2) 今後の方針は」との質問に対してまず、現状については、改善すべき課題として、中学校における時間外在校等時間が挙げられること。各学校においては、業務改善として、日課表の見直し等による業務効率化、市全体としては、夏期休業日の延長等により働き方改革が少しずつ進んでいること。

一方で、休憩時間や年休の取得に関しては未だ課題があり、時間外在校等時間と併せて、取り組むべきことであると考え、今後の方針については、先進地の事例を参考に、校長会と連携をして柔軟な休憩時間の設定や年休が取得しやすい職場環境作りに努めてまいりたいと答弁いたしましたところ、「(ア) 教員の増員についての考えは」と再問がございました。

教育長より、働き方改革の推進と共に、国や県に対し、全国都市教育長会や県教育長会をはじめ、関係教育機関と歩調を合わせ、あらゆる機会を捉えて、「標準法の改正による教職員定数の増員」や、「加配教職員定数の拡充」など、教員の増員・充実を実現するための要望を、今後も粘り強く行ってまいると答弁いたしました。

西村学校教育課長 資料19ページを下段をご覧ください。田村議員より「3. 教員の働き方改革について(1) 全国的に問題となっている教員の長時間労働について、本市の取り組みは」について質問がありました。

時間外在校等時間の状況については、小中学校ともに縮減しているが、中学校では、法令で定められている時間外在校等時間の上限である45時間以内を上回り、改善すべき課題であること。

中学校の長時間労働の要因である部活動をにおいては、拠点校方式導入は部活動指導員の活用を試みているが、十分な改善にはいたっていない。地域展開とともに、日課表やカリキュラムを見直すことも必要である。

今後の取組としては、教員の勤務時間管理と健康確保措置の実施計画の策定が義務化され、県や他市町村と共同で策定中であること、本市の実態と課題を計画に反映させ、運用していく、と答弁いたしました。

また、「4. 小中一貫教育の推進と吉野川モデルの構築について(1) 分散型ではなく一体型小中

一貫教育の推進について本市の見解は(2)0歳から15歳までの一貫教育を目指した「吉野川モデル」構築の可能性について本市の見解は」について質問がございました。

まず、分散型ではなく一体型小中一貫教育の推進について本市の見解はについて、現在川島中学校区の小中学校では、分散型の小中一貫教育を推進しており、児童生徒の主体性や表現力の向上、教職員間の協働の深化、地域人材の活用など優れた成果があがっている。

一体型小中一貫教育についても、効果として学びの接続や発達支援の継続性、中一ギャップの解消などがあり、必要に応じて、一体型の可能性も選択肢の一つとして研究を行うべきものであると考えている。

次に、0歳から15歳までの一貫教育を目指した「吉野川モデル」構築の可能性についてですが、本市では、こども園と小学校をつなぐ「架け橋期」を中心とした「幼少連携架け橋期プロジェクト」がスタートしている。

現状の分散型小中連携と、「架け橋期プロジェクト」の成果と課題を踏まえ、一体型保幼小中一貫教育を含め、今後本市の子どもたちに最も望ましい教育環境をいかにして確保するかという視点から研究を進めると答弁いたしましたところ、「4 小中一貫教育の推進と吉野川モデルの構築について(ア) 県立中学校に関する教育長の考えは」について再問がございました。

教育長より、県教育委員会と情報共有を図りながら、両中学校も含め、地域における中学校のあり方について協議を進めてまいりたい、また、地元の児童が市立中学校へ進学したいと思えるような学校づくりに向けて取り組んでまいりたいと答弁いたしました。

次に「5 小中学校のスマートフォン等の適切な利用について(1)本市ではスマートフォンやインターネット利用における具体的なルールや独自の啓発活動は行われているか」について質問がございました。

スマートフォンやインターネット利用におけるルールづくりや独自の啓発活動については、メディアポリシーやルールの策定が行われて事例があったこと、また、市青少年育成補導センター等による外部講師を活用してきたこと。日常的な啓発の取り組みとして、保健便りや校長室便りによる注意喚起等が行われていること。今後も入学説明会やPTA総会等機会を捉え、各校の実情に合わせて取り組みを進めてまいると答弁いたしましたところ、「(ア) 利用実態把握のアンケート実施について教育委員会の見解は」について再問がございました。

利用実態把握のアンケート実施について教育委員会の見解については、他の自治体の事例や実施方法なども参考にしながら、まずアンケート調査を行った上で実態把握に努め、児童生徒のスマートフォン等の使い方の改善に生かしてまいりたいと答弁いたしました。以上でございます。

武知職務代理者 ただいまの件について、ご質問等ございませんか。

委 員 給食費無償化について、小学校は完全実施ということですか。

重静教育総務課長 昨日、関係省庁の連名で方針決定という案内は県教委を通して届いており、小学校の無償化については実施ということで認識しています。

植田副教育長 また、一人当たりの支援の基準額が5,200円/月であり、基準額を超える部分については、自治体の方で保護者から徴収しても良いとのことではありますが、保護者からは徴収しないように、市が負担する方向で現在は考えております。

委 員 中学校についてはどうでしょうか。

植田副教育長 中学校の方は今後の国の動向を含めて前向きに検討していきたいと考えています。

委員	よろしくお願ひします。
武知職務代理者	その他、ご質問等ございませんか。ここで、教育長報告に移ります。本日、教育長不在のため、事務局より報告をお願ひします。
重清教育総務課長	<p>資料23ページをお開きください。12月につきまして、主な内容をご報告いたします。</p> <p>まず、11日(木)の「調べる学習コンクールの表彰式」でございますが、これは児童・生徒の探究心や課題解決力を育てる目的で、今年で第3回を数え、徳島新聞にも大きく掲載されました。市内小・中学校から昨年度より186点多い、429点の応募がありました。その中から「市長賞」、「教育長賞」、「図書館賞」それぞれ4名ずつ合計12名の児童生徒が表彰され、市長から直接賞状が手渡されました。様々な疑問や課題を解決に導く子供たちの素晴らしい感性や努力の賜といえる表彰式となりました。また、全学年にわたり、応募件数の一番多かった鴨島小学校が「学校賞」選ばれました。</p> <p>次に、13日(土)の市表彰・教育表彰についてです。今回表彰対象である16名ならびに1団体全員が出席され、私から表彰をさせていただきました。受賞した子供達は、それぞれの分野において、日々努力され、素晴らしい成果をあげられた方々です。また、ご家族も多く出席され、華やかな雰囲気の中、式典が終了しました。参列いただきました教育委員の皆様、お世話になりました。</p> <p>翌14日(日)は、「第72回徳島駅伝吉野川市選手団結団式」が行われました。原井市長を団長に、監督・コーチ・選手等、関係者が一同に会し、いよいよ伝統の徳島駅伝が始まりぞ。という空気分漂う式典となりました。今年就任した「喜多監督」から力強い抱負が述べられ、今年新調したエンジのウインドブレーマーに身を包んだ全ての選手を代表して、五味選手(徳島大)が力強い宣誓を行い、式典は最高潮に達しました。このシーンは徳島新聞でも大きく掲載されておりました。新春の阿波路を駆け巡り、故郷の檣をつなぐ徳島駅伝、吉野川市の選手のがんばりを関係者一丸となってチーム吉野川で応援したいと思ひます。参列いただきました教育委員の皆様、お世話になりました。</p> <p>次に、17日(水)は、「いじめ防止一斉学習」が、県下全ての公立学校で、この日一斉に行われました。私は、西麻植小学校を訪問し、6年生の授業に参加させていただきました。45分のうち、最初の10分は県内の小中学校および県立学校の「いじめ防止こども委員会」や「徳島県警」からのメッセージ、残り35分は各校・各学級でテーマを決めて話し合ひます。西麻植小学校6年生のテーマは「いじめのない笑顔あふれる学校にするために、自分ができることを考えよう」でした。西麻植小学校の教育目標である「いのち・こころ・なかま」と重なり、「人が人としてどう生きるか」を自ら考えていくよい授業でした。来る卒業式が素晴らしいものになるだろうと確信しました。</p> <p>次に、本日、23日(火)は、第2学期の終業式であり、子供達は明日からお正月を挟んで、翌1月8日の第3学期始業式まで、15日間の冬休みを家庭や地域で過ごすこととなります。</p> <p>最後に、最下段に記載している1月の主な予定として、1日(木)の徳島駅伝必勝祈願、3日(土)の二十歳を祝う会を予定しています。祝う会は、成人の門出を祝う華やかな式典であります。教育委員の皆様、よろしくお願ひいたします。以上となります。</p>
武知職務代理者	ただいまの件について、ご質問等ございませんか。続きまして、その他(1)「鴨島第一中学校及び鴨島東中学校の統合に関する準備状況」について事務局より報告をお願ひします。
重清教育総務課長	<p>前回、11月定例教育委員会において承認いただきました、鴨島東中学校と鴨島第一中学校の統合後の新しい学校名(鴨島中学校)についての関係条例を12月議会定例会へ提出し、去る12月19日に可決いただきました。これを持ちまして、正式に新しい学校名が決定いたしましたので、その次の作業といたしまして、校歌及び校章の製作準備を進めて参ります。</p> <p>資料24ページをお願ひいたします。校歌・校章の製作に当たっては、広く一般に校歌の歌詞や校章のデザインのアイデアを募集することといたしました。応募期間は、資料記載のとおり、昨日(12月22日)から1月30日までで、鴨島町内の小中学校の在校生や卒業生のほか、市内に通</p>

勤・通学している方や本市にゆかりのある方なども応募可能としております。  
その後、応募いただいた内容をとりまとめ、それぞれ専門の方へ校歌・校章の製作を依頼する予定としております。現時点で、製作を依頼する方は決まっておりませんが、両校の先生方からも候補者のご意見を伺いながら進めてまいりたいと考えております。

- 武知職務代理者 ただいまの件について、ご質問等ございませんか。
- 委 員 先ほどの指定校変更について、鴨島東中学校の新入生については、今後どうなるのでしょうか。
- 西村学校教育課長 まだ指定校変更の協議が出ていないので、詳しい数字は未定ですが、小学校からの情報では、来年度の鴨島東中学校の入学予定者数はかなり減少すると予想されています。
- 委 員 現状、鴨島東中学校では、次年度の新入生の指定校変更が増えているが、在校生での鴨島第一中学校への指定校変更はないということですか。
- 西村学校教育課長 そうです。
- 武知職務代理者 ただいまの件について、ご質問等ございませんか。それでは「1月定例教育委員会の開催日時について」事務局よりお願いします。
- 重葦教育総務課長 1月の定例教育委員会につきましては、前回お知らせいたしましたとおり、1月27日(火)午前9時から開催いたします。定例教育委員会終了後、10時30分から総合教育会議を開催いたしますので、よろしくお願いいたします。  
また、本年度の総合教育会議のテーマにつきましては、「学校におけるタブレット端末の活用について」となります。委員の皆様には、本テーマに関する会議での質問について、本日お配りしております質問票に記載の上、令和8年1月9日(金)までに提出のほどよろしくお願いいたします。なお、提出方法は、郵送、メール、FAXのいずれかでもお願いできればと存じます。この後、本テーマについて、学校教育課長から概要説明を行いますので、質問作成にあたっての参考としていただければと思います。
- 西村学校教育課長 概要説明
- 武知職務代理者 それでは確認いたします。それでは、次回の定例教育委員会は、1月27日(火)午前9時から開催といたします。  
先ほど事務局から案内がありましたが、総合教育会議をその後10時30分から同じ会場で行いますので、引き続きご参加いただきますようお願いいたします。  
それでは、以上をもちまして、本日の定例会を閉じることいたします。お疲れ様でした。お世話になりました。